

平成29年度 新規事業候補箇所の選定の考え方

平成28年12月15日

第16回近畿地方小委員会

国による直轄事業

① 高規格幹線道路における国による新設・改築事業

過去に選定した事業： 一般国道 42号 新宮紀宝道路 [H25.4.22審議]
一般国道 42号 すさみ串本道路 [H26. 3. 5審議]
一般国道158号(中部縦貫自動車道) 大野油坂道路(大野・大野東区間) [H27. 3. 4審議]
一般国道483号 北近畿豊岡自動車道 豊岡道路 [H28. 3. 9審議]

② 高規格幹線道路以外の直轄国道における新設・改築事業

過去に選定した事業： 一般国道 24号 寺田拡幅 [H25.4.22審議]
一般国道161号 湖西道路(真野～坂本北) [H27. 3. 4審議]
一般国道 2号 大阪湾岸道路西伸部(六甲アイランド北～駒栄) [H28. 3. 9審議]

今回の候補とする事業：一般国道 1号 淀川左岸線延伸部

③ 補助国道における国の権限代行による新設・改築事業

過去に選定した事業： 一般国道168号(五條新宮道路)風屋川津・宇宮原工区 [H25.4.22審議]
一般国道312号 大宮峰山道路 [H27. 3. 4審議]

➡ ②の分野について、選定の考え方を示して、
新規事業候補箇所を選定

平成29年度新規事業候補箇所の選定の考え方（②直轄国道）

対象事業：高規格幹線道路以外

直轄管理区間における対策未実施区間

全国的な政策課題に照らし必要性を確認

道路の防災・震災対策の観点からの
必要性

- ・ 近年大規模災害による被災有り
- ・ 事前通行規制区間、防災点検要対策箇所
など災害に対する脆弱性を有する区間
- ・ 津波浸水想定区域が存在 等

円滑な都市・地域活動の観点からの
必要性

- ・ 地域の協議会等において特定された
「主要渋滞箇所」 等

地域固有の課題解消の観点からの
必要性

- ・ 地域の協議会等において特定された
「事故危険区間」 等

具体的な対策方針が決定している区間

改築事業としての事業実施環境が整っている区間

一般国道1号 淀川左岸線延伸部

平成29年度新規事業候補箇所の選定の考え方（②直轄国道）

② 高規格幹線道路以外の直轄国道における新設・改築事業の選定フロー

【対策未実施区間(新規事業候補対象区間*2)の抽出】

1. 近畿の直轄国道全線(約1,900km)
 ○H22道路交通センサス区間のうち、バイパス等抜本的対策が事業中の箇所を除く
【1,057区間】

【新規事業候補区間*2の抽出】

2. 課題箇所の抽出 **【 651区間】**

① 渋滞 主要渋滞箇所・区間*1 が存在する区間*2 【 290区間】	② 事故 事故危険区間が存在する区間*2 【 430区間】	③ 通行規制 異常気象時事前通行規制区間が存在する区間*2 【 47区間】	④ 災害 防災点検要対策箇所及び津波浸水想定区域に該当する区間*2 【 183区間】
---	--	--	---

3. 具体的な対策方針が決定している区間 **【49区間(5箇所)】**
 ○計画が確定している区間

① 渋滞 【 27区間】	② 事故 【 37区間】	③ 通行規制 【 1区間】	④ 災害 【 18区間】
---------------------	---------------------	----------------------	---------------------

4. 事業実施環境等の確認 **【 24区間(1箇所)】**
 ○ルート・構造の検討状況、近接区間の事業状況等を考慮して、事業実施環境が整っている区間

① 渋滞 【 14区間】	② 事故 【 22区間】	③ 通行規制 【 0区間】	④ 災害 【 5区間】
---------------------	---------------------	----------------------	--------------------

○H29新規事業化(候補)箇所
一般国道1号 淀川左岸線延伸部

【抽出指標】

課題	評価指標	備考
① 渋滞	主要渋滞箇所・区間*1 主要渋滞箇所が確認されている区間	主要渋滞箇所公表資料(平成24年度)
② 交通安全	事故危険区間 事故ゼロプランにより選定されている区間	地域の委員会等で特定された区間
③ 通行規制	異常気象時事前通行規制区間 異常気象時に事前通行規制を実施する区間	近畿地方整備局が指定した事前通行規制区間
④ 災害	防災点検要対策箇所 防災点検要対策箇所が存在する区間	道路防災点検により要対策とされている箇所
	津波浸水想定区域 自治体が公表するハザードマップなどにより津波被害が想定される区間	最新の公表済みハザードマップ(津波)

区間*1には、交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む
 区間*2は、H22道路交通センサス区間